

よしあら

市民の動き
(5月1日現在)

男	46,333
女	45,682
計	92,015
世帯数	21,168

交通 標識
信号機がほしい
田島めぐみ



「大月線はよく見てわたりなさいよ」といいます。わたしは、毎朝おうだんほどうで、五分くらいまわります。おうだんほどうをわたるときは、かならず色いをはたをもつて、右と左を見ながら、大きく手をあげて通ります。このごろ、毎朝早くから、交通せいをしてくれておじさんがいます。車が多くつづいてきて、「ピリピリ」と、ふえをふいて、おまわりさんのように車をとめてくれます。でも、学校の帰りは、交通せいのおじさんがいないのでたいへんです。早くしんごうきができれば、いいなあと思います。(伝法小)

わたしの感じ

定時収集で大助かり

鈴木浜町・城市近子 (35)

わたしたちの地区は、日曜祭を過ぎ、1日おきに収集にきてくれます。おかげでゴミが腐敗することもなく、気持ちのよい毎日がおくれます。また、わたしたちは、



きめられた時間に、きめられた場所へポリバケツを置いておきます。すると清掃員の方がきて、短時間でゴミをもつていつてくれます。いくらゴミ収集が仕事だからといつても、大変な仕事です。ですから、お互いに話し合つて迅速に処理できるようにすることが大切だと思います。

伝法沢のゴミ処理を

上中町・池野きく江 (38)

戦後20年。公衆衛生活動も伝染病予防や衛生思想の普及などに、めざましい働きをしめてきました。しかし、わたしたち主婦が一番関心のある、ゴミの問題になると、まだまだ苦情があります。伝法沢がまるでゴミ捨て場ようになっていくということです。なかに、夜中に三輪車でゴミを捨てにくるひともあります。こうしたことは市当局もつと積極的に取り締つてほしいと思います。またこれから夏に向い、物が腐りやすくなりますからゴミ収集の回数をもつとふやしてほしいと思います。



みなさんの家庭から、毎日たくさんのおゴミが出されています。いま、市の清掃員によつて集められる一日のゴミの量は、ざつと五〇トン、これは五〇メートルプールいっぽうと、同じ量というから驚きます。それにゴミというシロモノ、いつたん処理に困ると、川、あき地、野原、道ばた...と、どこかまわす捨てられますから始末が悪い。「市

排出量ふえる一方

ゴミの中から資源回収を

「まず、敵を知れ」孫子の兵法にあるように、まずゴミの実態をみてみます。わたしは一日に約五〇〇グラムのゴミをだしているといわれています。なんだ、たつた五〇〇グラムか、というかたがいのかもしれないが「チリもつもれば」のたとえどおり、市内一四〇〇〇個のゴミ箱に出される一日のゴミの量は五〇〇トンにもなります。ゴミは減らさず、増える一方です。ここで、ちよつと二十年前のことを思い出してみよう。戦争中から戦後にかけての物資不足の時代です。いまでは捨ててしまふ

みんなので考えよう

良い例

悪い例



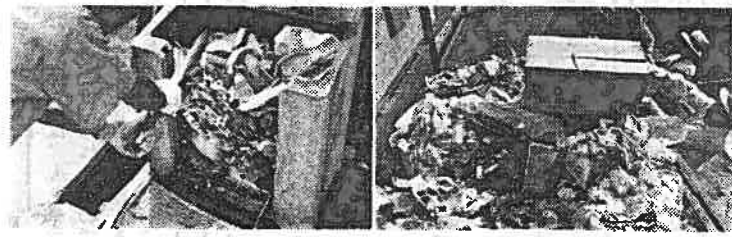
ポリバケツによる定時収集

あき地はゴミの山
それでは、もう一度ゴミの実態をみることにしましょう。最近ある新聞に「吉原市民の公德心はゼロか」と不名誉なことが書かれています。ゴミはいつたん処理にこまると川であれあき地、野原道ばた...いたるところに捨てられます。「ゴミは川に捨てるのも、ゴミ箱なんかない」良き

好評のポリバケツ

鈴木浜町などでは定時収集

まなく走りまわつています。集められたゴミは、一日五十トンの焼却規模をもつ、清掃作業所で完全に処理されています。ゴミが順調に集められれば、清掃作業所で処理されるので、川やあき地に捨てるといつた問題はまずなくなるのですが、ところが実際には、集めにくいゴミ箱があまりにもたくさんあつて作業能率をさげています。それ



◇ゴミ容器の数はゴミの量に同じ備えてください
◇こわれている容器はとりかえてください
◇せもののかけら、ビン、あきカなどのはゴミ箱にすてないで、別にして捨ててください

◇ゴミはゴミ容器(ポリバケツ、ゴミ箱)にいれてください
◇水分のあるゴミは、よく水をきり、ビニール袋か新聞紙につつんで捨ててください
◇ゴミ容器は、定時に収集場所に出しておいてください

ゴミは正しく捨よう

市民の声

清掃車にオルゴールをつけては

わたしたちのところ

は、いつも七日くらいでゴミ収集にきてくれますが、もう十三日もなるのにまだ集めにきてくれません。これはコンクリートのゴミ箱が収集能率をさげせているからと思ひます。ですから、市でポリ

バケツをあつせんして露地の奥のひとは、オルゴールか呼び声でゴミ収集にきたことを知らせれば能率もあがると思ひます。(長者町 芝敏美)

お答え 現在市内の世帯数は約二一〇〇〇。ポリバケツを備えてある家庭は三〇〇〇世帯です。そのうち一〇〇〇世帯が定時収集を行つています。オルゴール、呼び声で来たこと

をつげる方法は呼びかけ収集といひます。この方法は各地で行なわれましたが、いつくるかわからないというので、ノイローゼになつたとか、共稼ぎのためゴミがたまつてしまったという苦情が多いため中止されています。ですから吉原市では、各家庭にポリバケツを備えていただき、定時収集にするようにしたいと思ひます